

# 安全で快適な地域づくり



市民と地域の安全を守る消防団員

市民生活における交通の円滑化を図るため、都市計画道路陣内白野線の全線開通に向け計画的な事業の進捗を図るとともに、地域の生活道路である市道の改良や補修を行うほか、橋りょうの適正な維持管理を行うための長寿命化修繕計画の策定に取り組みます。また、地域の移動手段を確保するため、松浦鉄道の施設整備に対する支援を行うほか、コミュニティバスであるいまりんバスの運行に取り組みとともに、東山代元気バスの運行を支援します。

高品質な水道水を供給するため、有田川浄水場において膜ろ過方式の導入による浄水施設の更新に着手します。また、波多津簡易水道と木場簡易水道においては給水区域の拡張に取り組み、水道未普及地域の解消に努めます。

空き家などの所有者などに対し適正な管理を促すため、除却なども含めた対策を講じます。また、一般住宅のリフォームや耐震診断に対する支援を行い、安全で快適な住環境の整備を図ります。

環境保全については、水質や大気の調査を定期的に行うとともに、市民との協働による市民大清掃や伊万里湾岸清掃をはじめ、不法投棄監視のための巡回を実施するなど生活環境の向上に取り組みます。

消防・救急体制の充実を図るため、消防の広域化に向け、市民への迅速で効果的な情報発信や事務の効率化を図るためのシステム整備を行います。

全国的な問題となっている飲酒運転撲滅に向けた市民大会を開催し、飲酒運転の危険性などに関する市民意識を高め、交通安全対策を推進します。

●都市計画道路整備事業(陣内白野線) **6246万円**

都市計画道路陣内白野線の国道202号への接続に向けて整備を行います。

財源 国3388万円 市債2770万円 市88万円 ▼都市開発課

●道路維持事業 **5760万円**

市内全域の市道の維持補修工事などを行います。

財源 市5760万円 ▼建設課

●橋りょう長寿命化修繕計画策定事業 **800万円**

橋りょう(道路橋)の老朽化について、今後の予防的な補修などを計画的に行う必要があることから、長寿命化修繕計画を策定します。

財源 国440万円 市360万円 ▼土木管理課

●公共交通支援事業(松浦鉄道施設整備事業費補助金) **1136万円**

第三セクターである松浦鉄道の円滑な事業運営のため、車両更新や設備更新などの経営強化に対して支援を行います。

財源 市1136万円 ▼地域振興・公共交通対策課

●路線バス運行事業 **2289万円**

高齢者をはじめとした交通弱者の移動手段を確保するため、市独自の地



昨年7月にスタートし、市民に親しまれているいまりんバス郊外線

域密着型の「いまりんバス」を運行するとともに、東山代「元気バス」に対して支援を行います。

財源 市2289万円 ▼地域振興・公共交通対策課

●有田川浄水場更新事業(水道事業特別会計) **6億8548万円**

施設の老朽化や水源の水質変化などに対応し、安全で安心できる良質な水道水を供給するため、浄水施設の更新を行います。

財源 国1億6084万円 市債4億円 市1億2464万円 ▼工務課

●波多津簡易水道区域拡張事業(深谷地区)(水道事業特別会計) **1050万円**

水道未普及地域である波多津町木場(深谷地区)に水道施設を整備し、波多津簡易水道の給水区域を拡張します。

財源 国346万円 市704万円 ▼工務課

●木場簡易水道区域拡張事業（大知木）  
**【水道事業特別会計】新 771万円**  
 水道未普及地域である波多津町木場（大知木地区）に水道施設を整備し、木場簡易水道の給水区域を拡張します。  
 財源 国270万円 市501万円  
 ▼工務課

●井手口川ダム周辺施設管理事業新  
**161万円**  
 井手口川ダム周辺の公園のうち3か所について市が管理を行います。  
 財源 市161万円  
 ▼地域振興・公共交通対策課

●都市公園管理事業 3774万円  
 都市公園38施設の清掃、樹木などの剪定・防除、遊具の点検などの維持管理を行います。  
 財源 使用料18万円 諸収入7万円 市3749万円  
 ▼都市開発課

●空き家等対策事業新 255万円  
 今年1月に施行した『空き家等の適正管理に関する条例』に基づき、危険な空き家などに対して適正な措置を行います。  
 財源 国112万円 市143万円  
 ▼建設課

●地域住宅総合整備交付金事業 5317万円  
 老朽化が著しい市営住宅について、社会資本整備総合交付金を活用し、

改修工事を行います。  
 財源 国2566万円 市債2720万円 諸収入10万円 市21万円  
 ▼建設課

●住宅リフォーム緊急助成事業 3894万円  
 住宅投資による地域経済の活性化および住宅の耐久性・耐震性の向上などを目的に創設された『佐賀県住宅リフォーム緊急助成事業』を活用し、住宅のリフォーム工事に対して助成を行います。  
 財源 県3894万円  
 ▼建設課



佐賀県西部広域環境組合が建設を進めている広域ごみ処理施設の予想図

●公共下水道事業【公共下水道事業特別会計】 19億6429万円  
 快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図るため、下水道整備を推進します。  
 財源 国500万円 市6億7000万円 市債6億8630万円 使用料など6億299万円  
 ▼下水道課

●浄化槽設置整備事業（浄化槽設置整備事業補助金） 2672万円  
 浄化槽を設置する世帯に対して補助を行い、生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止を図ります。  
 財源 国891万円 県890万円 市891万円  
 ▼下水道課

●浸水対策事業 2億7638万円  
 満潮時と豪雨が重なる際に道路などが冠水する松島搦地区について、雨水渠や排水機場などの整備を行います。  
 財源 国1億3650万円 市債1億3360万円 市628万円  
 ▼下水道課

●ごみ処理広域化推進事業 9041万円  
 佐賀県西部4市5町で構成する佐賀県西部広域環境組合に対して経費を負担し、新施設の建設を推進します。今年度は、ごみ処理施設建設工事や敷地造成工事、市道宿分中通線道路改良工事などを行い

ます。  
 財源 市9041万円  
 ▼環境課

●資源ごみ回収奨励事業 297万円  
 リサイクル推進やごみ減量化対策の一環として、資源ごみの回収団体に対して補助を行います。  
 財源 市297万円  
 ▼環境課

●塵芥処理管理事業 1億4396万円  
 ごみを分別収集するための指定ごみ袋などの作製を行うとともに、一般廃棄物の収集運搬を業者へ委託し実施します。  
 財源 手数料1億558万円 諸収入30万円 市3808万円  
 ▼環境課



多くの来場者で賑わうリサイクルフェアのバザー



●環境センター管理運営事業

2億9792万円

市内から排出されたごみ（一般廃棄物）を衛生的かつ適正に処理するため、老朽化した焼却施設を安全に稼働できるように管理運営を行うとともに、ごみのリサイクル処理を行います。

財源 諸収入1312万円 市2億8480万円 ▼環境課

●伊万里・有田地区衛生組合事業

2億8294万円

伊万里・有田地区衛生組合が行うし尿処理や火葬場事業などに対し、その運営経費を負担します。

財源 市2億8294万円 ▼環境課

●消防広域化推進事業

7470万円

平成26年4月からの伊万里・有田消防組合の事務処理開始に向けた各種システムの整備などを行います。

財源 負担金2619万円 市4851万円 ▼消防本部

●消防救急無線デジタル化整備事業

3億6093万円

電波法関係審査基準の改正に伴い、消防救急無線をアナログ方式からデジタル方式へ完全移行するため、伊万里市と有田町で共同整備を行います。

財源 負担金1億2632万円 市債2億1090万円 市2371万円 ▼消防本部

●消防緊急通信指令システム整備事業

2億612万円

消防救急無線のデジタル化に伴い、消防緊急通信指令システムについて伊万里市と有田町で共同整備を行います。

財源 負担金7214万円 市債1億2050万円 市1348万円 ▼消防本部

●救急救命士養成事業

285万円

救急業務体制の充実強化を図るため、高度な救急処置を行うことができる救急救命士を養成します。

財源 市285万円 ▼消防本部



交通事故なしを願って伊万里梨を配布する子どもたち

●非常備消防車両等整備事業

290万円

消防団に配備されている小型動力ポンプなどのうち老朽化したものについて更新を行います。

財源 諸収入277万円 市13万円 ▼消防本部

●災害対策事業（わがまち・わが家の防災マップ作成費補助金）

90万円

地域における防災対策として、地域の実情を調査し、住民に周知することができる地域の防災マップ作成に係る費用について、一部補助を行います。

財源 市90万円 ▼総務課

●急傾斜地崩壊防止事業

1520万円

家屋などの後背地の急傾斜地や崖地

の崩壊による被害を未然に防止するための工事を行います。

財源 分担金380万円 県760万円 市380万円 ▼建設課

●総合流域防災事業

4887万円

準用河川煤屋川について、狭小で蛇行しているため台風や豪雨時は頻繁に氾濫し、農地や家屋に浸水被害を及ぼしていることから、改修工事を行います。

財源 国1600万円 市債3160万円 市127万円 ▼土木管理課

●交通安全の啓発・広報事業（飲酒運転ゼロ市民大会）

16万円

本市は飲酒運転の検挙者数が県内最多であるため、広く市民に対して飲酒運転の悪質性や危険性、悲惨などを訴える『飲酒運転ゼロ市民大会』（仮称）を開催します。

財源 市16万円 ▼総務課

●交通安全施設整備事業

913万円

歩行者の安全確保のため、既存歩道の段差解消や拡幅などを行います。

財源 国495万円 市債400万円 市18万円 ▼建設課

●防犯灯設置費助成事業（防犯灯設置費補助金）

120万円

各行政区が行う防犯灯の設置に対して事業費の一部を補助します。

財源 市120万円 ▼総務課



昨年度初めて行われた伊万里市原子力防災訓練で給水を体験する男の子